



2026 年 9 月 30 日

各 位

スパークス・グループ株式会社
代表取締役社長 グループ CEO 阿部 修平
(コード 8739 東証プライム市場)

スパークス札幌・北海道 GX ファンドへの新規出資者参画のお知らせ

スパークス・グループ株式会社（以下、「当社」）は、2026 年 3 月 27 日に設立および運用開始を公表した「スパークス札幌・北海道 GX 投資事業有限責任組合」（通称：スパークス札幌・北海道 GX ファンド、以下「本ファンド」）について、このたび新たな投資家に有限責任組合員（LP）として参画いただいたことをお知らせいたします。

本ファンドは、産学官金 21 機関により設立された Team Sapporo-Hokkaido が掲げる 8 つの重点分野を中心に、北海道内の GX 関連プロジェクトを投資対象とするファンドとして、2026 年 3 月より GP である当社を含む 14 社の出資者とともに運用を開始いたしました。

このたび新たに 3 社の LP 投資家にご参画いただき、下記のとおりコメントを頂戴しております。なお、本ファンドの募集期間は 2026 年 12 月末までを予定しており、引き続き北海道にゆかりのある企業や国内外の投資家からの参画を募りながら、北海道における GX の推進に取り組んでまいります。

新規出資者からのコメント（五十音順）

・クリプトン・フューチャー・メディア株式会社 代表取締役 伊藤 博之

北海道は、豊かな自然環境と再生可能エネルギー資源に恵まれ、GX を通じて新たな産業や雇用を生み出す大きな可能性を有しています。当社は札幌を拠点に、デジタルコンテンツや地域情報サービスを通じて、北海道の魅力と創造性を国内外へ発信してまいりました。また、環境保護に関する CSR 活動の一環として、2007 年 12 月から「グリーン電力証書システム」を導入し、年間使用電力の約 10%相当をバイオマス発電によるグリーン電力で賄っています。本ファンドへの出資を通じて、北海道の GX プロジェクトと、それを担う企業や人材の挑戦を後押しし、環境と産業が調和しながら持続的に発展する地域の未来づくりに貢献してまいります。

・株式会社ニトリホールディングス

ニトリグループは本ファンドへの出資を通じて、創業地である北海道の GX 推進の実現に貢献するとともに、今後も持続可能な地域づくりに貢献する取り組みを継続してまいります。



・宮坂建設工業株式会社

宮坂建設工業はこれまで、建設現場における環境負荷の低減や脱炭素化など、総合建設業の立場から GX に幅広く取り組んでまいりました。

今後は「スパークス札幌・北海道 GX ファンド」への参画を通じ、北海道の豊富な再生可能エネルギーを基盤とした産業育成と地域経済の持続的発展に、総合建設業としての知見と実績をもって貢献できるよう取り組んでまいります。

[ご参考]

1. スキーム図



2. ファンド概要

ファンド名	スパークス札幌・北海道 GX 投資事業有限責任組合 (通称：スパークス札幌・北海道 GX ファンド)	
投資対象	主に、下記に掲げる TSH の 8 つの重点領域および再生可能エネルギーに関する北海道内の GX プロジェクト (1) 洋上風力 (2) 次世代半導体 (3) データセンター (4) 水素 (5) SAF (6) 蓄電池 (7) 海底直流送電 (8) 電気及び水素運搬船	
出資者	無限責任組合員	スパークス・グループ株式会社
	有限責任組合員	株式会社アインホールディングス 芦北町（熊本県） クリプトン・フューチャー・メディア株式会社 札幌市 株式会社脱炭素化支援機構 株式会社中山組 株式会社ニトリホールディングス



		株式会社日本政策投資銀行 平和不動産株式会社 株式会社北洋銀行 公益財団法人北海道科学技術総合振興センター 株式会社北海道銀行 株式会社みずほ銀行 株式会社三井住友銀行 株式会社三菱 UFJ 銀行 宮坂建設工業株式会社 (五十音順)		
運用代理人	スパークス・アセット・トラスト＆マネジメント株式会社			
運用期間	2036 年 2 月 1 日迄			
ファンド規模	目標 100 億円	出資募集期限	2026 年 12 月 30 日	

■ 本件に関するお問い合わせ先

スパークス・グループ株式会社 広報室

TEL : 03-6711-9100 / FAX : 03-6711-9101

pr_media@sparxgroup.com